

消防フェア



同時開催の消防フェアでは、防災紙芝居や救急救命体験、消防車乗車などが行われました。復活した『レスキュー戦隊マホルンジャーショー』では、手に汗握る場面に子どもたちの声援が飛びます。



大抽選会でシャインマスカットをゲット！



(右) 大好き大竹応援大使の2人。ゴッホ向井さんと山口みさとさん。



(左) ハーモニカ演奏と琴水会の大正琴。



コイ♡こいフェスティバル



11/8 SAT バザーにステージ、にぎわうコイ・こい

総合市民会館・消防署

29回を迎えた『コイ♡こいフェスティバル・イン・おたけ』。バザーやゲーム、飲食のテントが立ち並び屋外は多くの人で活況を呈し、屋内ステージは、大好き大竹応援大使のゴッホ向井さんの司会で進行。ダンスや日舞、太極拳、空手古武道の演武などで、観客を楽しませていました。同じく応援大使の山口みさとさんは『瀬戸内恋歌』などを熱唱。『大竹音頭』で、踊り手たちと一緒に会場を盛り上げてくれました。ステージを終えた『ダンススタジオ モア』のインストラクター奥田ナオミさんは、熱演のご褒美に「洋服や食べ物を買わされました」と言いながらもうれしそうな表情。2階ホールは、ボルダリングやeスポーツ、障害児を撮影した写真展も開かれていました。



10/18 SAT ふるさと大竹で、人形舞披露

玖波公民館

大竹市出身の人形作家、二代目辻村寿三郎さんを招いた公演が行われました。幼い頃から生け花を学び、大竹市の小・中、高校を経て、23歳で京都の池坊に入門。華道家の道を歩んできました。40代で初代辻村寿三郎氏に師事。人形作家、人形操作師として、数々の舞台を踏んできました。

この日はアコーディオン奏者えびさわなおきさんと共に舞台に立ち、シャンソンの音色に合わせて操る人形のあでやかな姿で観客を魅了。シャンソンの歌声も披露しました。

終演後は、訪れた同級生たちに囲まれ、卒業アルバムを開き昔話に花が咲きます。大竹高校の同窓会幹事を務める中村倫洋さん(廿日市市)は「素晴らしい。同級生として誇り」と喜びを表します。公演を終え辻村さんは「ふるさと大竹に呼ばれて、ご縁のありがたさを感じています。感謝の気持ちでいっぱい」と感慨深げな表情を見せてくれました。



(上) シャンソンの音色が会場を包みます(左上) 寿三郎さんが操る人形は命を吹き込まれたようにあでやかに舞います(左) 寿三郎さんを囲んで同級生の中村倫洋さん(辻村さんの右隣)と原田博さん。



イベントなどで撮影した写真は、「広報おたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。

10/26 SUN 楽しく学べる盛りだくさんのプログラム

サントピア大竹

『大竹ふれあい健康・福祉まつり』が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

屋内では、健康づくり講演会や手話・点字体験、ステージ発表などが行われ、屋外では、日用品や雑貨のフリーマーケット、あゆの塩焼きやうどんなどの屋台が所狭しと並び、長い列を作っていました。

最後はお米などの豪華景品が当たるお楽しみ抽選会。番号が読み上げられる度に自分の番号とにらめっこし、大盛り上がりで幕を閉じました。

手話体験コーナーであいさつや自分の名前などの手話を教えていた手話サークル『ぽぽんた』の前川江美さんと『さつき』の藤田ゆかりさんは「手話が難しいものではないと知ってもらい、コミュニケーションが取れる喜びやうれしさを知ってほしい」と手話の体験を呼びかけていました。



西医療センター副院長 鳥居剛さんの認知症についての講演。